

海外安全情報（ガイアナ共和国における拳銃使用強盗事件の発生について）

平成28年9月23日

9月23日（金）の午後12時30分頃、ガイアナ共和国の首都ジョージタウンに所在する国際機関の駐車場内において同国に居住する日本人男性が、車を降りたところアフリカ系男性（身長180センチメートルぐらい、やせ形、ポロシャツ用の上衣に長ズボン着用）の男性に拳銃を突きつけられ、所持していた2つのバッグをひったくられるようにして奪われました。

犯人が使用した車両は黒色又は濃い緑色の日本メーカーのセダンとみられ、被害者が犯行現場となった駐車場に駐車する際に同所に入ってきたとのこと。また車内には運転手の他に拳銃を所持していたとみられるもう1人他の男性が乗車していたことが確認されており、犯人らは被害者から鞆を奪った後、同車両で逃走しました。

犯行現場は外国人が多く勤務する国際機関の関係者が使用する駐車場であり、昼休み時間帯であったこと、また、警備員が配置されたオフィスに隣接しているにもかかわらず大胆にも犯行が行われたことなどから、同所を利用する外国人などに対して短時間で強盗を行う目的で計画的に犯行に及んだことが推測されます。

今回のように通常行き慣れた安全な場所であっても犯罪に巻き込まれる可能性はぬぐえません。ガイアナのジョージタウンでは先月も日本人3人が被害者となる拳銃使用強盗事件が発生しており、また本件と同様に複数の犯人が1台の車両（シルバー色）を使用して犯行に及んでいます。

対策として、不審車両に注意を払うこと、また同車両には近づかないことが重要です。さらに駐車の際に付近で不審車両が駐車しているのを見かけた場合は、中から強盗犯人が出て来ることを想定して、安全を確認するまではしばらく車内で待機し、いつでも発進してその場から逃げられるようにしておくことも有効です。

他に注意すべきこととして

- 外を歩く際には服装や装飾品はなるべく目立たないように心がけ、目を付けられないようにする
- 被害にあったときのことを想定し、多額の現金を持ち歩かない、盗まれても良い財布及び現金を準備しておくなどの対策を講じておく
- スマートフォン、ノートパソコンやカメラなどを使用する際、またATMを使用する前後において周囲の状況を確認する、使用する場所を安全な場所に限定する
- 車を駐車する場所については係員のいる駐車場や人目につく場所を選定し、車へのスーツケースなどの荷物の出し入れの状況や積載物を外から他人に見られないよう工夫する

といったことを平素から心がけていただくようお願いいたします。

★外務省海外安全ホームページでは、海外における安全対策としての注意事項をまとめた各種資料を公開していますので、皆様の海外安全対策にお役立てください。

<海外安全虎の巻>

http://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/tora_2016.pdf

<海外赴任者のための安全対策小読本>

<http://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/overseas2013.pdf>

<海外における脅迫・誘拐対策 Q&A>

<http://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/kyohaku2013.pdf>

★万が一、犯罪被害に遭われた際は、当館領事・警備班までご連絡ください。

★在留届はインターネット上で提出することができます。転居等により連絡先が変更になった、あるいは帰国する場合にもインターネット上で手続きできます。（「たびレジ」も併せてご参照ください。）

<「在留届電子届出システム」、「たびレジ」> <http://www.ezairyu.mofa.go.jp/>

（お問い合わせ先）

在トリニダード・トバゴ日本国大使館領事・警備班

電話＋１－８６８－６２８－５９９１（代表）

E-mail : ryouji@po.mofa.go.jp